夕刊
東北日日新聞
年中無休刊
本紙一ヶ月三十錢
郵税三五錢一部三錢
廣告料一行五〇錢
場所指定二〇錢增
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 石城郡平町白銀町十番地 東北日日新聞社 電七七

社説

（その三）

起債二十萬が平町三萬町民の負ふべき性質のものではないのである。大擴張工事が完成するならば、未だ水道の利用化に浴して居らなかつた城山、四軒町、櫻町、八幡小路、鎌田等の一部、若しくは全部が防火、衛生等の完備と同時に同一町民としての平等な取扱ひをうくることになるのである。從つて水道使用料の增收は必然的のものである。殊に現在鐵道方面では多大の費用を投じて粗惡な飲用水を使用してゐることも、根本から救濟されることになり、町水道部は四千五百九十圓の收納年收となるのである。即ち提案される上水道擴張工事が、完成されるときが、五萬人給水の計劃であり、それが商品の價値を帶びて生れてくるのである。生活に水といふ重要性を有するものが、絶對的位置を占有してゐる限りは完成後の使用者膨張か確實のものであり、實在不變のものである。

一轉して、平町が都市としての永遠性を有しないときは勿論、この確實もあり得ないことになるであらうけれど、平町が大正元年に戸數三千〇三七戸・人口一萬六千二百九十人といふ數字から、昭和三年度の戸數四千六百六十八と現在であり、人口二萬六千二百八十九人といふ數字が現實を物語つて居るし、昨年よりの地方萎縮の風が吹き荒んでゐるとしても、尚平町の戸數人口が近代文化の歩調に副ふて增加しつゝあることは爭はれない時代相であり　でありとするならば、起債二十萬圓を昭和二十五年迄に返還する財源を、決定的水道使用料に求めたことは町理事者の適當な處置でもあり賢明な、方法でもあつた。

現在返還すべきものと合計して五萬九千〇七十三圓の返還は決して谷間に架した丸木橋を渡るやうな危險性を有するものではないことが一目必然の姿であらう。

あらゆる政黨を排ゲキし 自分一人で良い者になる

『立憲養正會』石城に生る

近く聚樂舘で發會式

石城社會民衆黨支部は現在は兎も角將來に於て既成政黨の牙城に肉迫し漸次相當の勢力を得るものと見られて居るがその種無産黨の進出に**相對し**て近年中央に孤々の聲をあげた國体主義政治を目標とるもの立憲養正會が石城地方に近く支部を設置せんとしてゐるので相當の注目を惹くに至つた立憲養正會なるものは國体主義者が團結して政權を獲得し既成政黨を排撃すると同時に左よく無産政黨をも驅ちくすることを**目標と**する無産政黨で皇室中心の政治を行ふべしと唱へるものであるが主義に於て相反するも行動の上より現れる社會的影響は左傾無産黨に類似するものありかつて同會の仙臺市における演説會は多數の檢束者を出した程であるので左傾無産黨の進出せる石城地方に斯くの如き反動政治團體が出現することは極めて興味を惹くものである尚同會支部を**設置せ**んとする中心者は石城郡玉川村齋藤晃氏で本月末頃平町聚樂舘で發會式を擧げ本會から總裁田中澤二氏以下數名の出席を得て大演會を開く豫定であると

平町の電料燈は どうしても高い

五日値下委員會を開き 更に對策を講ずる

過般の平町會で議せられた電燈料値下げ問題は町議吉田(五)馬目(雅)高橋、千葉馬目(武)綠川、花澤の七委員より各方面の細密なる比較資料を蒐集し充分なる調査をなし具体案を樹てそことになつたが郡山、福島、仙臺、水戸、土浦、名古屋、四倉、若松の各地より集めた材料によれば各電燈一燈に十錢高値となり同じ會社であり乍ら平町と他地方との均衡が保たれてゐないので五日に電たう値下調査委員會を開き更に對策を講ずる事となつた

縣參のイスは 若松氏へ行くか

＝兎に角野崎、若松兩氏は今後も互に反目せん＝

縣參事會の椅子爭奪で若松野崎の兩縣議が互ひにしのぎをけづつて相爭つてゐる關係から石城民政黨は全く勢力が二分して分裂しかねまじき形勢にあるので同黨部會の長老である漆畑、草野、志賀、箱崎小松の五氏は兩者間の紛爭を調停して圓滿なる解決をつげんものと種々奔走中にあつたが過般の幹部會で（既報總會はあやまり）も長老一任と一決したのでいよ〳〵五長老出席の上部會としての最後の態度を決定すべく來月五日午後一時から平町南町部會樓上に再度の幹部會を開くことゝなつたが五長老等の意見は大体において

若松氏は野崎氏の先輩でありことに野崎氏は次回においても立候補することは明らかであるからこの際年長である若松氏に縣參の椅子をあたへる事は花をもたせるものである政部會としては若松氏を縣參に推すことが妥當である

といふのであるから結局は縣支部でも部會の意見を尊重して若松氏を縣參に推すものゝ如くであるが然しこれが原因となつて野崎若松兩氏が今後においても毎々に爭ふことは免れぬものと見られてゐる

元平署の 團体事務所

正式に取壞し指令

平署の移轉によつて元の郡會議室へ追ひまくられた石城郡に於ける各種團体事務所では元平警察署廳舍を拂下げて各種團体事務所にせんものと縣に對し廳舍拂下げの運動中であつたが一日付を以て平署を經由團体代表安島重三郎氏宛に縣から許可の指令あり同時に六十日以內に取壞す樣と依命して來たので各種團体では近く團体長會議を開き移轉建築の協議をなし直ちに着工すると

平町の 選擧資格者

四千二百九十名

平町に於ける衆議院議員選擧名簿は一日を以て漸く終了五日より一般に縱覽せしめる事となつたが今年は昨年に比し百八十二名增しの四千二百九十八名である

保安材は無斷伐採 火藥類は無許可で

使用せんとした小玉川電氣 平署で愈々取調開始

平町に本社を置く小玉川電氣會社では發電工事のため石城郡赤井村地內の保安林に高さ六尺長さ一千間の假道路を開さくするため右保安林伐採方を**縣當局**に願ひ出たので縣から係官出張調査したところ右の區間は許可を俟たずして既に保安林の樹木を伐採してゐること發覺平署に告發されたが更に同社の工事請負人石城郡赤井村大字高萩土木業富樫重郎（二五）は去月二十三日午前十時頃平町一丁目銃砲火藥商渡邊貫一方よりその筋の**許可を**得てあると稱し小玉川水力發電所工事用の爆發藥ダイナマイト一貫二百匁雷管百個導火線百五十尺等を購入し該工事に使用せんとしたところ平署員に知られ銃砲火藥類取締法違反事件として取調られてゐる

狂犬？ 好間に現れ

忠坊にかみつく

石城郡好間村中川原鈴木久吉方の飼犬が去る二十七日午後三時頃同村中好間田中忠寬二男忠順（六ツ）にかみつき全治一週間の傷を負せたので平署に屆出たが同犬はさきに附近の子供を二人迄かみつき狂犬の疑ひあり二日平署土屋技師は出張調査をなした

曲の惡い 藝妓を告訴

湯本常陸舘主が

湯本町旅館常陸舘事塙信人は二日平署に郡山市北町藝妓屋星與吉方抱ひ藝妓元平町田町三好屋方小はぎ事宇山サト（二四）を相手取り百十餘圓の詐欺の告訴を提起したがキトは本年九月一日より十月八日迄單衣一枚を身に纏つたのみで懷中無一文で常陸舘に泊り乍ら十日には平町に行くと稱して現金衣類等を借り受けそのまゝ郡山に逃走したもので最初から宿泊を支拂ふ意志がなかつたから前記の告訴に及んだものであると

▲湯本に火見櫓

湯本町消防組では同町關船地內に鐵骨火の見やぐらを建設する事となり豫算五百六十餘圓を計上したが內二百五十圓は同町補助殘は一般の寄附を求めると

塔中の怪（十一）

無名氏

『伯爵は何處においでなさる！　伯爵は　伯爵は？！』と私は四方を見廻した。丁度此時私のそばに走り近づいた、執事の一人『殿樣は奥の間にいらせられます』といふ聲に、私は夢中に長い廊下を傳つて奥の間に來て見ると、此處は門前や應接の間の騷がしさには似ず、極めて靜かで伯爵は此時南の窓を背にして一人の年若き紳士と何事をか低聲に語つて居つたが私の足音をきくより少しく顏をもたげた、その面には實に無限の憂ひをふくんで居つた。さて、伯爵と談話の相手は誰かと見ると、これぞ當時天下にならびなき探偵術の名家と世にもてはやされてゐる、私の親友長岡武太郎であつた。長岡大探偵の名は、おそらく全世界の探貞社會では誰一人として知らぬ者はあるまい。彼は自分の思ふがまゝに若くなり、老人になり、金滿家にもなり、美人にもなる所謂化相の妙を得たばかりではなく、腕力は一時に數十の敵を相手にするに足り劍道柔道一として其奥儀を極めざるはなく、加ふるに或一種の不思議なる化學力を應用して、何時如何なる強てきに出あつても一歩もひけをとらぬ術を覺えて居るので、世の良民からは神の如く敬はれ。惡人からは天魔鬼神の如く恐れられてゐる人、其大探貞と今や伯爵は、ひそかなる室で、密かなる談話をして居るのでも今回の事變の實に容易ならぬ事がわかる。

私はます／＼胸をおどらせつゝ、伯爵のかたはらへ近づくと伯爵は曇れを眼をあげ『おゝ、武田かよく早く歸つてくれた』と力なく私を見る私はそゞろにあはれになり

『伯爵、唯今家令より承りましたが、何か悲しむべき事件が姫の御身に…』

「左樣、姫は行衛知れずになつたよ……たしかに惡魔のためにかどわかされてしまつたのだよ』

『え、え、え、姫が…惡魔に…かどわかされた…』

と私は殆んど氣絶するばかりに驚いた。男のくせに氣の弱い人間だなど、嘲り給ふな。あの可愛らしい美くしい雪子姫が、突然、何者かは知らぬが伯爵が惡魔と呼ぶ程、恐るべき者の手に奪ひ去られたと聞いては氣も魂も遠くなる樣な心地がしたよ。

『な、何者に？』『ど、何處へ？』と私がせき込むと伯爵の憂はしき面は、ます／＼曇りて

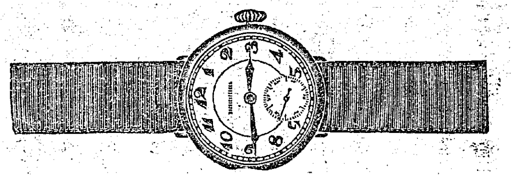
『それがわかる程ならかうまで心配はせぬ…もう私は雪子の名を思ひ出しても悲しくなる…委細の事は長岡にきいてくれ』とばかり顏をそむけた

長岡大探貞は私の親友である伯爵の今の言葉をきくより、伯に代つて此大事變のてん末を語らんとて、やをら私の方へ膝を進めた。

大帝キネ登龍篇
監督佐藤樹一路作品
松本田三郎
革新第一回主演
▲加賀騷動の內
安宅剛右エ門
十一月一日替り
四日間一週間に二回替
連續四輯 **大學生活**
第七リレーレース
第八大學給仕
ジョージルイズ
ドロシーガリヴア主演
◇ユニバーサル特作
漫画 **はねろやはねろ**
大帝キネアシヤ特作品
悲劇 **母性愛** 全
高津愛子鈴木信子主演
▲マキノ超特作
原作 脚色
壽々喜多呂九平
劍豪谷崎十郎主演
異說 **清水一角**
有聲座

冬服御揃ひ
女學生通學用オーバ
小學生通學用オーバ
中學生金ボタン外套
特賣
正札堂洋服店
平四丁目（驛前通）

突飛な安賣り
新工場落成
三週年記念
半額大賣出し
特賣品（簞笥、戶棚、茶簞笥、火鉢、本箱、机、椅子、テーブル、）
期間 十月三十一日まで
賣切れぬうちお早いが勝ち
丸ほん家具店
營業所 平町三丁目 電話五三九番
製造所 平町新田前 電話七二三番



時計の御用は一直線に
ダイヤ堂へ
確實…迅速…親切…廉價！
時計・眼鏡・蓄音機・貴金屬
ピクターレコード特約店
ダイヤ堂 **鈴木時計店**
福島縣平驛前（新道）
電話（呼）八〇五番

冬の大賣出し
御婚禮用品各種
丸帶、江戶褄、訪問着
御召、錦紗小紋、袴地
防寒用品各種
レデーコート地、ジョール、羅紗オーバー、
既成コート、
新製ベビー用品陳列
ベビー洋服、メリヤス
肌着、袖ナシ、男女初
着、パンツ、各種
平 **三井呉服店** 町

梅毒と體毒を
切らず…注射せず…治す
獨逸のベルツ博士の發見
ベルツ丸
悩み苦しむ人々よ…速刻服用して其偉効を味はれよ
藥價（輕症用三圓、重症用五圓、頑固用拾圓）（根む德用廿圓、試用二圓、一圓）
平町五丁目角
地方一手特約店 **山野邊藥局**

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は **三四三番**
サシミ

高久病院
平町田町
電話五一三番
內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

淋病 消ガチの妙藥
家傳 **峰岸淋丹**
東京
分舖
一週間分金二圓七十錢 二週間金五圓 三週間金七圓
御申込次第密送す
平町南町火の見下

附屬品卸
自動自轉車
自轉車商
山光堂
常磐線平町四丁目花信
葬儀社
特に勉强致します
電話五五〇番

內外果實問屋
藤居商店
平町三丁目 電話五四三番